

株式会社常磐谷沢製作所 相馬事業所

福島県

【経営者の声】 所長 穴戸 隆秀さん

当社では、主力工場である茨城工場で障害者雇用に積極的に取り組んでいますが、そこでは障害のある社員が組立作業やフォークリフトでの運搬作業に従事していることから、当事業所でも障害者に活躍してもらえるのではないかと、雇用を考えることにしました。

全盲の方を採用したのですが、最初に本人専用の簡単な作業用治具を用意する必要があったこと、作業を覚えるのに少し時間がかかったこと以外は、特段困ったことはありませんでした。一般には視覚障害者には工場勤務はできないと思われがちですが、船迫さんは当社にとって欠かせない戦力になっています。本人の人柄も明るく前向きで、仕事にも熱心に取り組んでくれるので、職場の雰囲気がとてもよくなりました。

当事業所では、障害者雇用をしているという特別な意識はありません。周囲の社員が自然体で受け入れていることが、よい結果につながっているのだと思います。



直面した課題と対応策

社内の理解促進

事業所として初めての障害者雇用であったため、社内の理解を得られるか不安があった

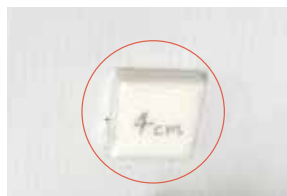
障害者雇用の方針や採用する障害者の障害特性について全社員に説明した上で、社員からヒアリングを実施

職務選定と作業環境の整備

視覚障害者が単独で従事できる作業の選定と環境整備を行う必要があった

これまでパート従業員が行っていた一連の作業工程を分割し、補助者なしで従事できる作業を見つけ出した

本人が単独で作業できるようにするための簡易的な治具を社内で作成



保護ベルト(命綱のこすれ防止)の組み立ての治具(手で長さがわかるようになっている)



保護ベルト(命綱のこすれ防止)を左図の治具にセットした状態

職場環境の整備

初めての会社勤務であり、単独で通勤できるようになることが課題であった

日本盲導犬協会の支援を受け、盲導犬と通勤する訓練を受けた

事業所内での移動や備品へのアクセスが安全にできるよう工夫する必要があった

事業所内に導線を設置したほか、備品に点字シールを貼付

Point

- 視覚障害者が補助者なしで作業できるよう環境を整備
- 社内を安全に移動できるようにするための環境整備を家族の協力を得ながら実施

取 組 み の 詳 細

【全社員への説明とヒアリングを実施】

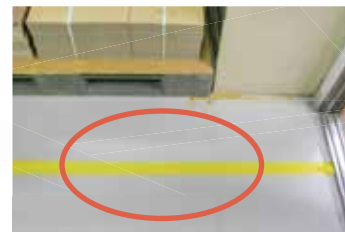
・障害者雇用に取り組むにあたって、会社としての方針、採用する障害者の障害特性などについて、全社員に直接説明した上で、社員からも意見を聞いた。なお、障害特性や配慮すべき事項については、採用する障害者が通所していた障害者支援施設の職員に確認した。ていねいな説明を行ったこともあり、社員からは大きな反対は出なかった。

【事業所内の移動を安全・円滑にするための工夫】

・作業場から食堂への移動など、事業所内の移動を安全に、円滑にできるよう、事業所内に導線を設置したほか、ロッカーやタイムレコーダーなどの社内の備品や自動販売機に点字シールを貼付した。なお、これらの工夫は、障害のある社員の家族の協力を得て行った。



通路に埋め込んだ導線



ビニールひもを活用した導線

【単独通勤の支援】

・日本盲導犬協会から盲導犬の貸与を受けるとともに、盲導犬とともに通勤する訓練を受けた。1カ月あまりの訓練で単独で通勤できるようになり、それまで片道1時間以上かかっていた通勤時間が片道40分程度に短縮された。



点字の写真



導線の写真

【障害のある社員の声】 船迫 ひかるさん (視覚障害 勤続3年目)

入社当初は、部品の裏表を手触りで判別するのがむずかしくて苦労しましたが、会社の方が見本を用意して手に触れながら教えてくれたので、今では一人で作業できるようになりました。就職面接会で、いくつかの会社から、全盲の人にはどうやって仕事を教えていいのかわからない、と言われていましたが、この会社ではていねいに仕事を教えてくれたのでありがたいと思っています。



● 事業所データ

- 所在地……………福島県相馬市
- 従業員数……………36名
- 事業内容……………産業用ヘルメット、乗用車用ヘルメット、安全带、換気用風管、担架などの製造



● 雇用障害者データ

- 雇用障害者数…2名
- 障害種別……………身体障害
- 業務内容……………製造作業
- 労働条件等……………週20時間勤務